2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　フジコピアン株式会社　　上場取引所　東・福
コ ー ド 番 号　　7957　　URL　https://www.fujicopian.com
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　佐々木　敏樹
問合せ先責任者　（役職名）　代表取締役専務　　（氏名）　上田　正隆　　(TEL) 06(6471)7071

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	7,015	13.3	286	―	305	―	1,235	―
2025年12月期第３四半期	6,191	△3.9	△185	―	△175	―	△176	―

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　745百万円(　―%)　2025年12月期第３四半期　△126百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	790.50	734.43
2025年12月期第３四半期	△115.43	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	13,785	8,993	65.2
2025年12月期	13,871	7,968	57.4

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　8,991百万円　2025年12月期　7,965百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	0.00	―	40.00	40.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				140.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
2026年10月14日までに未行使の新株予約権がすべて行使されたため、自己株式の減少ならびに発行済株式の増加の影響を考慮して、1株当たりの年間配当金140円に修正しております。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	9,700	14.4	350	―	360	―	1,250	―	814.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	1,789,487株	2025年12月期	1,789,487株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	95,861株	2025年12月期	258,825株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	1,563,007株	2025年12月期３Ｑ	1,530,681株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、３ページ「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業による賃上げの継続などにより、実質賃金がプラスで推移し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。

一方で、中東情勢をはじめとする国際情勢の不安定化に伴うエネルギーコストや原材料価格の高騰および中国の景気停滞など景気の下振れリスクが引き続き懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当グループは、新中期経営計画（2026～2030）において、「戦略の見直しによる成長」を重点経営課題の一つとしております。ここでは、事業ポートフォリオ分析にもとづき、「中核的成長事業」および「戦略的育成事業」における製品群・市場のうち有望なテーマに絞って優先度をつけながら投資をおこなう「選択と集中」を徹底する取り組みを進めております。

当第３四半期連結累計期間における販売面につきましては、新中期経営計画における重点課題「コアビジネスの強化」に注力するなかで、主力のサーマルトランスファーメディアでは、需要が総じて増加傾向にあります。

また、生産面では、新中期経営計画における重点課題「コスト競争力の強化」を目指し、グループ全体でのコスト削減を推進し、収益改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、70億１千５百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

利益面におきましては、グループを挙げた生産の効率化や販売費および一般管理費の抑制に努めるなどコスト削減に取り組んでまいりました。また中東情勢の影響による原材料価格の高騰に対して、販売先への一時的な価格転嫁をすすめてまいりました。さらに前期に減損損失を計上した影響により、当第３四半期連結累計期間における償却費の発生が抑制されたことも相俟って、営業利益は２億８千６百万円(前年同期　営業損失１億８千５百万円)となり、経常利益は３億５百万円(前年同期　経常損失１億７千５百万円)となりました。政策保有株式（上場企業）売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億３千５百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失１億７千６百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

印字記録媒体および事務用消耗品関連事業は、売上高67億６百万円(前年同期比13.8%増)、セグメント利益(売上総利益)は16億９千７百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

品目別売上高としましては、サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボン、テープ・チューブ用リボンを中心に成長市場(用途)への拡販に努めました結果、41億３千２百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開し、特定用途向け製品の競合他社からのシェア奪取により、９億８百万円(前年同期比57.6%増)となりました。

テープ類は、取引先各社の需要に回復の兆しが出てきており、11億５千６百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

機能性フィルムは、新製品に対する拡販などに努めたものの、３億１千万円(前年同期比4.4%減)となりました。

その他は、１億９千８百万円(前年同期比3.9%増)となりました。

プラスチック成形関連事業は、取引先各社の需要の回復が進み、売上高３億８百万円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益(売上総利益)は７千３百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、137億８千５百万円(前連結会計年度末比0.6%減)と、前連結会計年度末に比べ８千５百万円の減少となりました。これは、主に投資有価証券が減少したことなどによるものであります。

負債は、47億９千２百万円(前連結会計年度末比18.8%減)と、前連結会計年度末に比べ11億１千万円の減少となりました。これは、主に設備関係電子債務が減少したことなどによるものであります。

純資産は、89億９千３百万円(前連結会計年度末比12.9%増)と、前連結会計年度末に比べ10億２千５百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、前回発表(2026年８月10日)から変更しておりませんが、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,541,657	4,087,975
受取手形及び売掛金	1,948,058	1,780,386
電子記録債権	599,391	547,141
商品及び製品	790,556	773,737
仕掛品	714,349	717,436
原材料及び貯蔵品	776,846	734,563
その他	231,415	55,901
貸倒引当金	△2,461	△2,209
流動資産合計	7,599,814	8,694,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,897,605	1,917,588
機械装置及び運搬具（純額）	1,222,480	1,419,191
土地	1,075,984	1,075,984
建設仮勘定	274,934	73,863
リース資産（純額）	―	16,027
工具、器具及び備品（純額）	85,714	82,286
有形固定資産合計	4,556,719	4,584,942
無形固定資産		
ソフトウエア	736	488
その他	40,628	42,666
無形固定資産合計	41,364	43,155
投資その他の資産		
投資有価証券	1,515,851	301,749
その他	157,888	161,154
投資その他の資産合計	1,673,740	462,903
固定資産合計	6,271,824	5,091,001
資産合計	13,871,638	13,785,934

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	324,219	515,399
電子記録債務	740,413	649,787
1年内返済予定の長期借入金	687,955	634,005
リース債務	50,482	28,365
未払法人税等	26,117	183,965
未払消費税等	6,636	9,105
賞与引当金	―	115,440
設備関係電子記録債務	636,306	128,998
その他	363,947	398,429
流動負債合計	2,836,078	2,663,496
固定負債		
長期借入金	1,917,387	1,441,883
リース債務	65,871	59,809
繰延税金負債	295,630	26,952
役員退職慰労引当金	242,233	59,183
退職給付に係る負債	542,468	537,600
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,067,403	2,129,241
負債合計	5,903,481	4,792,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	1,935,362
利益剰余金	△426,094	1,885,165
自己株式	△422,050	△156,314
株主資本合計	6,939,580	8,456,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	633,154	17,121
為替換算調整勘定	398,975	526,657
退職給付に係る調整累計額	△6,612	△8,337
その他の包括利益累計額合計	1,025,517	535,441
新株予約権	3,059	1,746
純資産合計	7,968,157	8,993,196
負債純資産合計	13,871,638	13,785,934

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,191,325	7,015,125
売上原価	4,853,538	5,244,201
売上総利益	1,337,787	1,770,924
販売費及び一般管理費	1,523,507	1,484,266
営業利益又は営業損失(△)	△185,720	286,657
営業外収益		
受取利息	1,135	2,208
受取配当金	35,088	33,061
保険返戻金	―	5,034
その他	21,709	12,382
営業外収益合計	57,933	52,687
営業外費用		
支払利息	24,730	26,510
為替差損	14,753	6,736
その他	8,614	185
営業外費用合計	48,098	33,432
経常利益又は経常損失(△)	△175,885	305,912
特別利益		
投資有価証券売却益	―	1,062,293
特別利益合計	―	1,062,293
特別損失		
固定資産廃棄損	6,122	9,413
特別損失合計	6,122	9,413
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△182,007	1,358,793
法人税等	△5,316	123,235
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,691	1,235,558
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△176,691	1,235,558

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△176,691	1,235,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,649	△616,033
為替換算調整勘定	17,659	127,681
退職給付に係る調整額	△2,538	△1,724
その他の包括利益合計	49,770	△490,076
四半期包括利益	△126,920	745,481
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,920	745,481

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期連結累計期間において、第２回新株予約権の行使により、資本剰余金が76,361千円増加し、自己株式が265,792千円減少しております。また2026年２月24日に公表のとおり、会社法第 452 条の規定にもとづき、資本剰余金1,075,701千円を減少させ、繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補に充当しております。

これらの結果、当第３四半期連結会計期間末において、資本剰余金は1,935,362千円、利益剰余金は1,885,165千円、自己株式は156,314千円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ.前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	印字記録媒体および事務用消耗品関連事業	プラスチック成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランスファーメディア	3,748,299	－	3,748,299	－	3,748,299
インパクトリボン	576,290	－	576,290	－	576,290
テープ類	1,054,060	－	1,054,060	－	1,054,060
機能性フィルム	324,974	－	324,974	－	324,974
その他	190,771	－	190,771	－	190,771
プラスチック成形	－	296,929	296,929	－	296,929
顧客との契約から生じる収益	5,894,396	296,929	6,191,325		6,191,325
外部顧客への売上高	5,894,396	296,929	6,191,325	－	6,191,325
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	530	530	△530	－
計	5,894,396	297,459	6,191,856	△530	6,191,325
セグメント利益	1,275,001	62,874	1,337,875	△87	1,337,787

(注)１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

Ⅱ.当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	印字記録媒体および事務用消耗品関連事業	プラスチック成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランスファーメディア	4,132,395	－	4,132,395	－	4,132,395
インパクトリボン	908,241	－	908,241	－	908,241
テープ類	1,156,811	－	1,156,811	－	1,156,811
機能性フィルム	310,643	－	310,643	－	310,643
その他	198,193	－	198,193	－	198,193
プラスチック成形	－	308,839	308,839	－	308,839
顧客との契約から生じる収益	6,706,286	308,839	7,015,125	－	7,015,125
外部顧客への売上高	6,706,286	308,839	7,015,125	－	7,015,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	356	356	△356	－
計	6,706,286	309,196	7,015,482	△356	7,015,125
セグメント利益	1,697,176	73,815	1,770,992	△67	1,770,924

(注)１　セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

２　セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)
減価償却費	485,763千円	261,075千円